



【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

『長岡赤十字病院 緩和ケア病棟 いよいよ開設です』 ～患者さんと地域に寄り添う緩和ケアをめざして～

緩和ケア科 部長 佐藤 直子

がんの終末期には「家に帰りたい・家で過ごしたい」と願う患者さんが多くいらっしゃいます。住み慣れたご自宅で家族や友人に見守られながら自分らしい最期を過ごすことはとても大切なことだと思います。これまで、在宅療養を希望されながらも体調や療養環境など様々な理由で願いが叶わず、入院のまま最期を迎える患者さんがたくさんおられました。

当院の緩和ケア病棟では、在宅療養を希望される方のお手伝いを積極的に行いたいと思っています。患者さんひとりひとりの人生を大切にしながら、今後どのように過ごしていくのか・してほしいこと・してほしくないことなどを患者さん・ご家族・医療者が一緒に考え、患者さんの人生の最終章のしめくくり方を相談していきます。また、患者さんを支えるご家族の負担をできるだけ軽減するために、訪問診療や訪問看護などの医療資源を導入し地域の先生方とも連携しながら調整していきます。いったん家に帰っても、家で過ごすことが難しくなった場合や急に状態が変化した場合などは、いつでも当院で受け入れを行います。

患者さんの症状緩和をしながら「家に帰りたい」という願いを実際に叶えていく場所が長岡赤十字病院の緩和ケア病棟になります。

緩和ケア病棟の病室は個室的多床室4床、個室10床となっています。患者さんが寝たまま入ることができ特殊入浴室の他、明るい日差しの中で信濃川を一望できる開放的な談話室とキッチンがあります。夏には談話室から長岡花火が真正面に

見えます。車椅子はもちろんのこと、ベッドから起き上がれない患者さんにもご家族と一緒に花火を楽しんでいただけるよう、ベッドのまま談話室に入ることができます。また、付き添いのご家族が足を伸ばして畳の上でゆっくり休むことができる家族控室も2部屋用意しました。ご家族にもほっと一息ついていただけるよう、ご家族用のシャワールームも完備しています。その他、これまで患者さんが大切にしていたことを私たち医療者も大事にしていきたいという想いから、部屋での飲酒やペットとの面会など、状況に応じて受け入れていきたいと思っています。

患者さん・ご家族にできるだけ緩やかで和やかな時間と空間を提供できたらと思っていますので、どうぞお気軽にお問合せください。



緩和ケア病棟スタッフ

医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、ボランティアなどがチームとなり、患者さんが安楽に過ごせるようお手伝いさせていただきます。

緩和ケア病棟の設備紹介

有償個室



家族控室



特殊浴室



談話室



キッチン（談話室内に併設）



患者会からの
お知らせ

がん患者サロン「ほほえみサロン千秋」は当分の間中止とします。

再開する際は、ホームページ等でお知らせいたします。

当院の新型コロナウイルス感染症対策について

- 院内に立ち入る全ての方は、来院前に必ず体温を計測してください。
- 入院患者さんとの面会は原則禁止とさせていただきます。

面会禁止に該当しない場合は 面会票を記入のうえ、極力短時間で済ませてください。

詳しくは当院ホームページでご確認ください。

